2020
事業報告
清光園

2020

4

4/1　辞令交付式　新卒採用１名　特養事業部 介護職員 對馬有梨

4/16　新型コロナで緊急事態宣言発令　施設の入館（面会）制限を開始

政府が布マスクを配布

新型コロナ、世界の感染者 300 万人超える

補正予算案が成立　国民に一律 10 万円の給付

新型コロナでプロ野球開幕断念、Ｊリーグ公式戦中断

5

5/14　経営会議　❶ 2019 年度第２次補正予算（案）について

❷ 2019 年度事業報告及び決算報告について

5/25　緊急事態宣言、全面解除

介護職員等派遣事業　クラスター発生施設へ職員を１名派遣する

5/29　監事監査　❶平成 31 年４月１日から令和２年３月 31 日までの、理事の業務執行状況及び財務状況について　❷入居者預り金の管理状況について

6

6/1　第１回理事会　書面審議で行う

6/18　新型コロナ対策・見舞金として、職員一人当たり３万円支給

6/26　第１回評議員会　書面審議で行う

都道府県境をまたぐ移動の自粛解除

プロ野球３カ月遅れで開幕、Ｊリーグ４か月ぶりの公式戦再開

陸上イージス配備を撤回

7

7/7　消防立入検査　全事業所指摘事項・改善事項なし

7/16　令和２年度北海道危険物安全協会連合会会長表彰 庶務係長 佐々木稔 受賞

藤井聡太七段 17 歳 11 カ月で最年少タイトル 棋聖位獲得

Go To トラベルキャンペーン開始（東京は除外）

米大リーグ、４カ月遅れの開幕

元大関の照ノ富士が優勝

8

8/13　経営会議　❶令和２年度 第１四半期事業報告について

❷新型コロナ緊急包括支援交付金（介護分）慰労金について

❸令和２年度 介護職員処遇改善加算計画について

❹被服衛生費の源泉徴収について

8/24　デイサービスすずらん実地指導（夕張市）

8/28　監事監査　❶理事の業務執行状況及び財産状況について　❷入居者預り金

9

9/1　新型コロナ緊急包括支援交付金（介護分）　職員に慰労金を支給

9/2　第２回理事会　書面審議で行う

9/14　気づきを築くユニットケア研究会　三ツ井香菜絵アンコール発表

菅内閣は発足

大坂なおみ　全米テニス優勝

米大統領選　トランプ氏、バイデン氏がテレビ討論

TOPIX

10

10/3　オンラインやねだん故郷創世塾　清光園の取組を報告

10/9　令和２年度介護関係職員医療連携支援事業　夕張市医師会会長中條医師を迎えて、清光園、グループホームまどか、グループホーム若菜の３事業所合同で研修を行う（年４回：11/6，1/29，2/26）

10/13　職員健康診断

トランプ米大統領、新型コロナ感染

11

11/2　第３回理事会開催

11/9　シルバー共同住宅陽光（有料老人ホーム）の実地検査

11/11　令和２年度 介護ロボット導入支援事業（見守り機器の導入に伴う通信環境整備事業）補助金の決定を受ける

11/12　経営会議　❶令和２年度 上半期事業報告

❷就業規則の改正（案）

12

11/13　評議員選任・解任委員に坂本直樹氏を委嘱　評議員選任・解任委員会開催　評議員に坪田聡氏を委嘱

11/25　第２回評議員会　書面審議で行う　高橋一太氏が監事に選任される

11/27　令和２年度介護ｻｰﾋﾞｽ提供基盤等整備事業　陰圧装置補助の決定を受ける

12/9　在宅要介護者等受入体制整備事業における短期入所協力事業所の指定を受ける

1

12/11　監事監査　❶理事の業務執行の状況及び財務状況　❷入居者預り金

12/15　第４回理事会　書面審議で行う

12/25　特養２階 B205 号室に陰圧装置を設置（介護ｻｰﾋﾞｽ提供基盤等整備事業）

1/20　新型コロナ対策・見舞金として、職員一人当たり２万円支給

1/26　特養２階末広ユニットに業務用空気清浄機を設置（在宅要介護者等受入体制整備事業）

2

2/12　介護職員等派遣事業　クラスター発生施設へ職員１名派遣する

2/18　経営会議　❶令和２年度 第３四半期事業報告について

❷令和３年度 資金収支予算（案）について

❸令和３年度 事業計画（案）について

❹就業規則の改正（案）について

2/25　特養各フロアに Wi-Fi を整備（見守り機器の導入に伴う通信環境整備事業）

3

2/26　監事監査　第５回理事会開催

3/18　特養２階 B205 号室に眠りスキャンとここちあ利楽を設置（在宅要介護者等受入体制整備事業）

3/25　特養２階 B205 号室に冷暖房エアコンを設置（在宅要介護者等受入体制整備事業）

3/26　第３回評議員会開催

BUSINESS

2020年度に実施した評議員会の状況

開催日	出席者数	決議事項等
6/26	書面審議	❶2019年度　事業報告について ❷2019年度　計算書類（貸借対照表及び収支計算書及び財産目録の承認について） ❸役員報酬規程の改正について
11/25	書面審議	❶役員の選任について～「監事・高橋一太」
3/26	（評議員）6名 （役員）4名	❶役員報酬規程の改正について ❷役員等（理事・監事・評議員）の改選スケジュールについて

2020年度に実施した理事会の状況

開催日	出席者数	決議事項等
6/1	書面審議	❶2019年度　第2次補正予算案について ❷2019年度　事業報告及び決算報告について ❸役員報酬規程の改正について ❹定時評議員会の開催について ❺理事長の実務状況報告 ❻監事監査報告
9/2	書面審議	❶令和2年度　第1四半期事業報告について ❷資産の管理について ❸補助事業について ❹第1次補正予算案について ❺理事長の実務状況報告 ❻監事監査報告
11/2	理事5名 監事1名	❶役員等の人事に関する選任について（池元監事辞任意向の件） ・監事の推薦「高橋一太氏」 ・評議員の推薦「坪田聡氏」 ・評議員選任・解任委員の選任「坂本直樹氏」 ❷評議員会の開催について
12/15	書面審議	❶令和2年度　上半期事業報告について ❷資産の管理について ❸評議員選任・解任委員会及び評議員会（書面審議）の報告 ❹理事長の実務状況報告 ❺監事監査報告
2/26	理事5名 監事2名	❶令和2年度　第3四半期事業報告について ❷令和3年度　事業計画（案）について ❸令和3年度　資金収支予算（案）について ❹就業規則の一部改正について ❺役員報酬規程の改正について ❻評議員会の開催について ❼理事長の実務状況報告 ❽監事監査報告

2020年度に実施した監事監査の状況

●監事報告により求められた改善すべき事項　なし

●監事報告により求められた改善すべき事項に対する対応　なし

REPORT

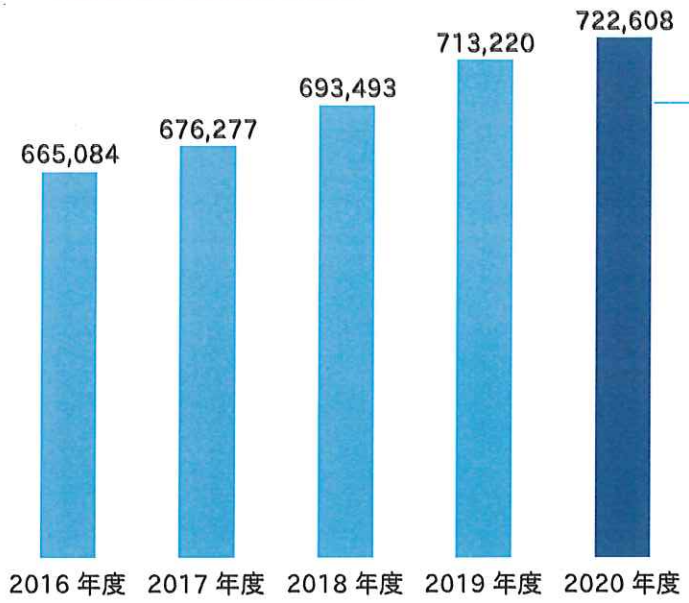
法人単位資金収支計算書（単位：円）

勘定科目	予算	決算	差異
介護保険事業収入	687,448,000	694,351,077	△ 6,903,077
老人福祉事業輸入	16,577,000	16,925,151	△ 348,151
その他の事業収入	300,000	144,950	155,050
経常経費寄付金収入	314,000	145,000	169,000
受取利息配当金収入	1,514,000	1,550,969	△ 36,969
その他の収入	9,205,000	9,491,323	△ 286,323
事業活動収入計（1）	715,358,000	722,608,470	△ 7,250,470
人件費支出	428,638,000	420,430,343	8,207,657
事業費支出	104,043,000	91,362,914	12,680,086
事務費支出	84,119,000	84,237,926	△ 118,926
利用者負担軽減額	12,024,000	10,980,204	1,043,796
支払利息支出	4,849,000	4,971,544	△ 122,544
その他の支出		1,566,820	△ 1,566,820
事業活動支出計（2）	633,673,000	613,549,751	20,123,249
事業活動資金収支差額（3）＝（1）－（2）	81,685,000	109,058,719	△ 27,373,719
施設整備等補助金収入	8,980,500	10,087,580	△ 1,107,080
施設整備等収入計（4）	8,980,500	10,087,580	△ 1,107,080
設備資金借入金元金償還支出	38,680,000	38,680,000	
固定資産取得支出	13,345,000	12,183,110	1,161,890
ファイナンス・リース債務の決済支出	1,432,000	1,412,280	19,720
施設整備等支出計（5）	53,457,000	52,275,390	1,181,610
施設整備等資金収支差額（6）＝（4）－（5）	△ 44,476,500	△ 42,187,810	△ 2,288,690
長期貸付金回収収入	1,667,000		1,667,000
積立資産取崩収入	60,000,000	64,646,170	△ 4,646,170
事業区分間繰入金収入	3,300,000		3,300,000
サービス区分間繰入金収入	77,782,000		77,782,000
その他の活動収入計（7）	142,749,000	64,646,170	78,102,830
長期貸付金支出	1,750,000	610,000	1,140,000
積立資産支出	188,425,000	217,914,056	△ 29,489,056
事業区分間繰入金支出	3,300,000		3,300,000
サービス区分間繰入金支出	77,782,000		77,782,000
その他の活動による支出		1,845,693	△ 1,845,693
その他の活動支出計（8）	271,257,000	220,369,749	50,887,251
その他のの活動資金収支差額（9）＝（7）－（8）	△ 128,508,000	△ 155,723,579	27,215,579
当期資金収支差額合計（10）＝（3）＋（6）＋（9）	△ 91,299,500	△ 88,852,670	△ 2,446,830

法人単位貸借対照表（単位：千円）

資産の部			負債の部		
	当年度末	前年度末		当年度末	前年度末
流動資産	415,565	496,364	流動負債	101,916	94,052
現金預金	280,429	341,183	固定負債	535,627	575,414
有価証券	0	20,060	負債の部合計	637,544	669,466
固定資産	1,104,000	996,562	純資産の部		
基本財産	752,585	795,510	基本金	190,861	190,861
その他の固定資産	351,414	166,368	国庫補助金等特別積立金	170,596	176,292
投資有価証券	0	15,063	その他の積立金	182,167	14,000
長期貸付金	5,654	6,710	次期繰越活動増減差額	338,395	442,306
退職給付引当資産	45,622	45,817	（うち当期活動増減差額）	64,256	62,026
修繕積立資産	182,167	14,000	純資産の部合計	882,021	823,460
資産の部合計	1,519,565	1,492,927	負債及び純資産の部合計	1,519,565	1,492,927

キャッシュ・フローの概況



事業活動収入の推移（単位：千円）

事業活動収入は、722,608,470 円。前年度から 1.3%増、2016 年度から 8.6%増となりました。

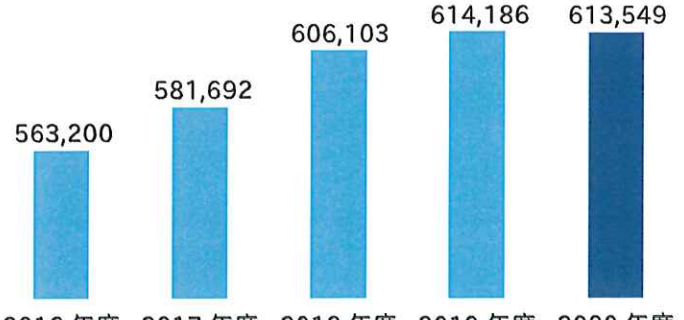
事業活動収入の 96%が介護保険事業収入です。2.3%が老人福祉事業収入で、サービス付き高齢者向け住宅の収入です。

介護保険事業収入は、80.9%が特養、4.9%がデイサービス、11.6%がグループホーム、2.6%が居宅介護支援事業者の収入になります。

受取利息配当金収入の 95.4%は、仕組債の利息配当金になります。

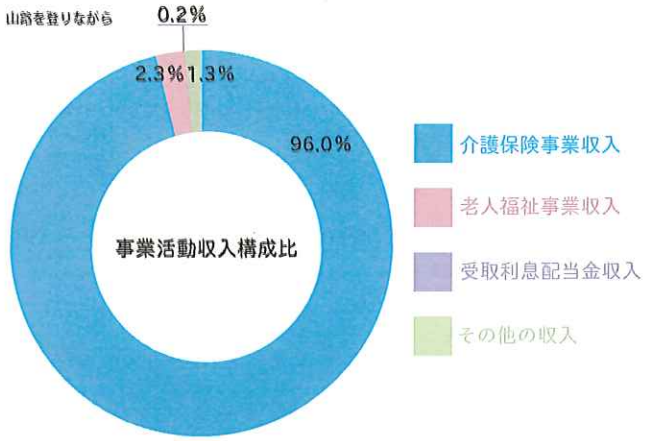
その他の収入は、37.0%が障がい者雇用調整金、21.0%がキャリアアップ助成金やトライアル雇用助成金などの労働関係の助成金、12.8%が弁当販売収入、9.1%が共済会の健康管理助成金、7.8%が職員派遣の日当です。その他に自動販売機の手数料や、旧公宅の家賃収入などで構成されています。

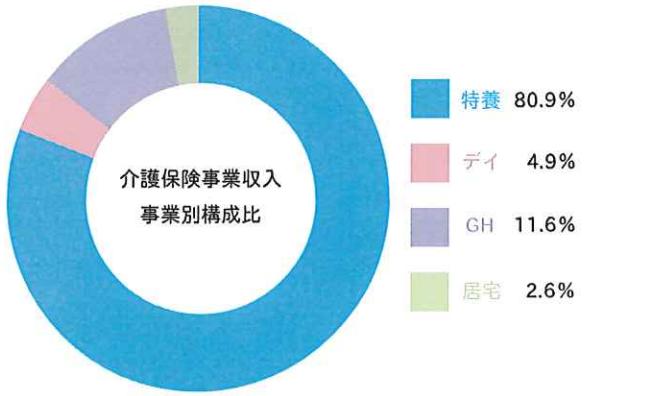
事業活動支出は、613,549,751 円。前年度より 0.1%

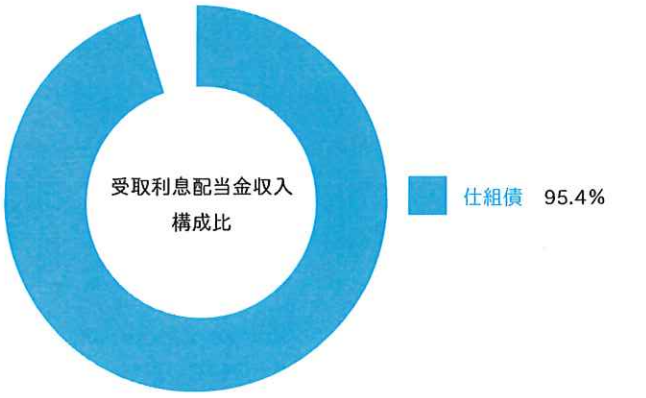


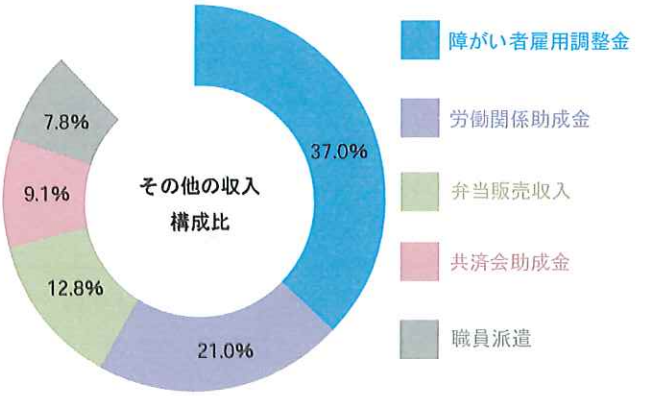
事業活動支出の推移（単位：千円）

事業活動収入構成比









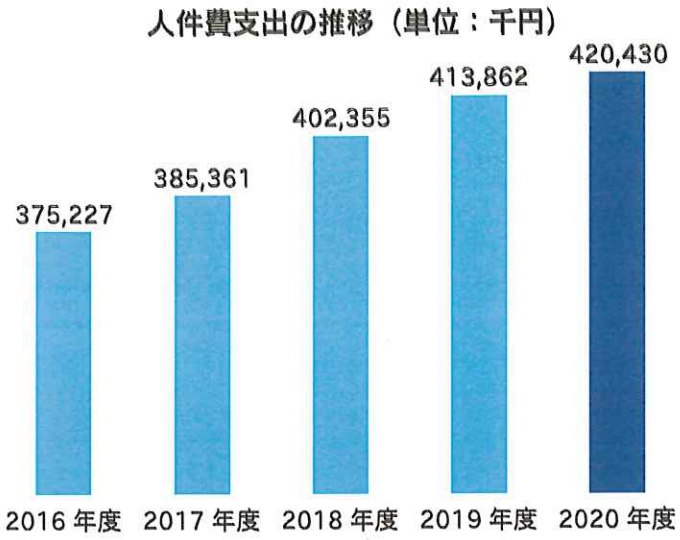
減、2016 年度から 8.9%増となりました。

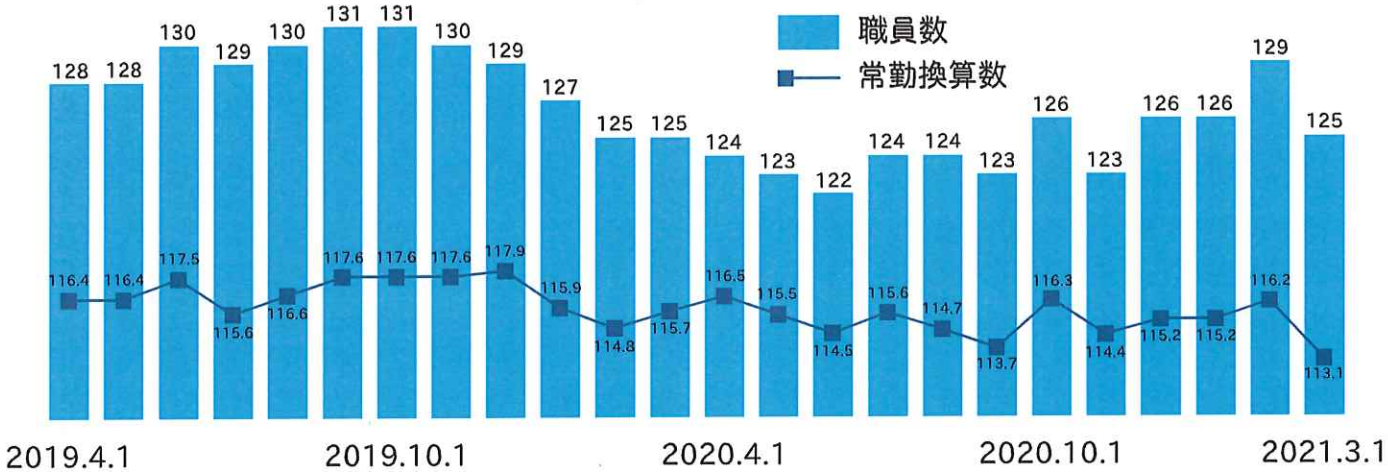
人件費支出は、420,430,343 円。前年度より 1.6%増、2016 年度から 12.0%増となりました。

職員数はこの 2 年間、131 ～ 122 人で推移しており、常勤換算数の平均値は 116 人でした。

一人当たりの労働生産性は、前年度 4,352,557 円、今年度 **4,512,140 円**です。生産性の伸び率は 3.6%でした。

※労働生産性の算定にあたっては、キャリアアップ助成金（共通要領様式第 2 － 1 号）生産性要件算定シートの計算式に基づいて行っております。
雇用保険被保険者＝ 119 人





職員数の推移

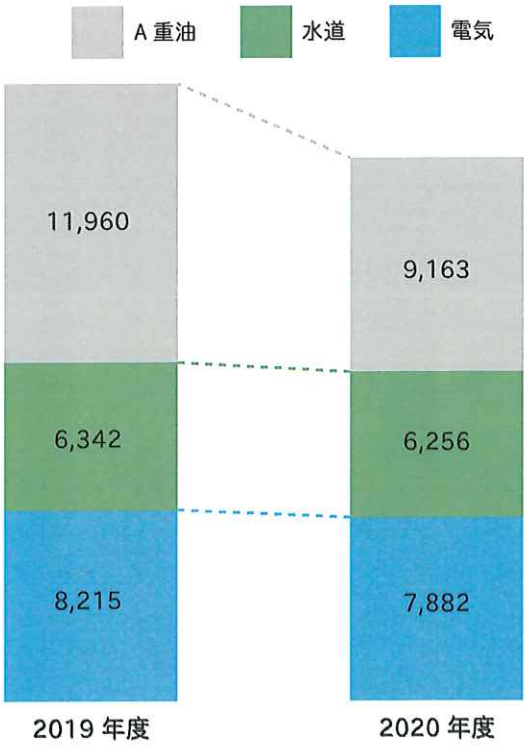
水道光熱費の電気、水道は、前年度より微減、A 重油は、23%減となりました。

福利厚生費支出は、8,478 千円で、6 月と 1 月に新型コロナウイルス対策を講じてくれている職員への見舞金として、5,945 千円を支給しました。

修繕費支出は、6,632 千円で、主に、駐車場老朽化による整備や、デイ・陽光の屋根塗装、非常照明器具交換、給湯系統ポンプ類の修繕等を行いました。

保守料支出は、4,041 千円で、主に介護記録ソフトの保守や厨房機器等の保守の他に、法令で定められている検査を行っております。

検査項目	結果
エレベーター法定検査	良好
消防立入検査	良好
簡易専用水道検査	良好
浄化槽法定検査	新型コロナの影響で中止
煤煙測定検査	良好
消防設備点検	異常なし
電気工作物定期検査	良好

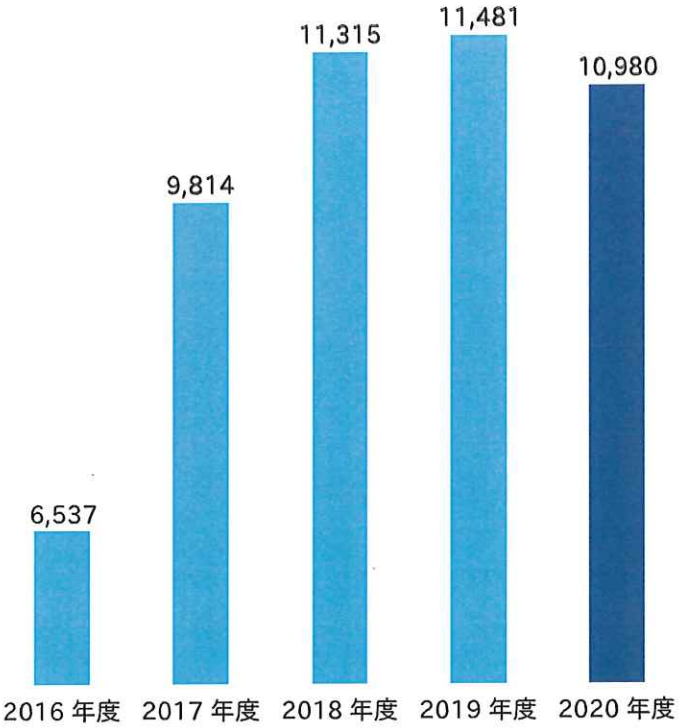


水道光熱費・燃料費の推移（単位：千円）

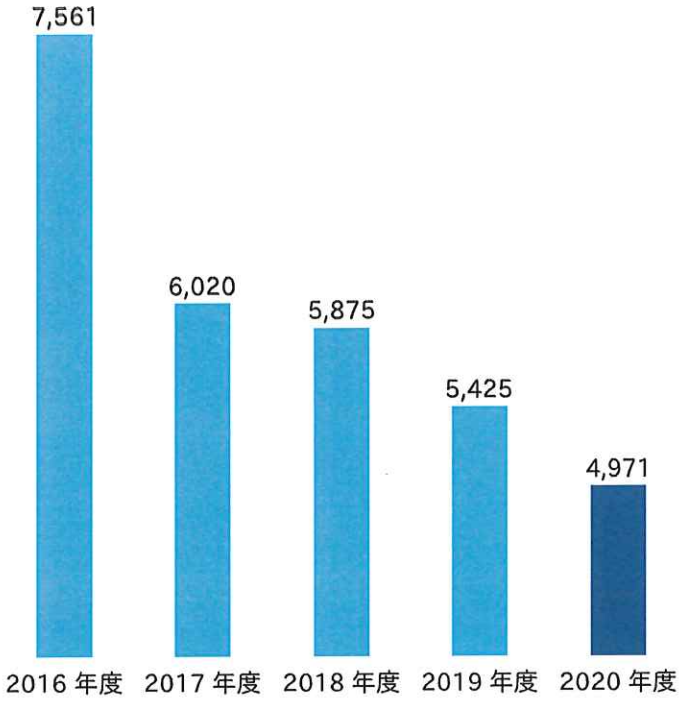
利用者負担軽減額は、前年度から 4%減少しました。2016 年度からは、68%増となっています。

支払利息は、2016 年度からは、34% 減少しています。

施設整備等補助金収入は、5,237 千円です。介護ロボットの見守り機器の通信環境を整備するために、全館 Wi-Fi 環境を整備しました。介護サービス提供基盤等整備補助金で、ショートステイの一室に、簡易陰圧装置を設置しました



利用者負担軽減額の推移（単位：千円）

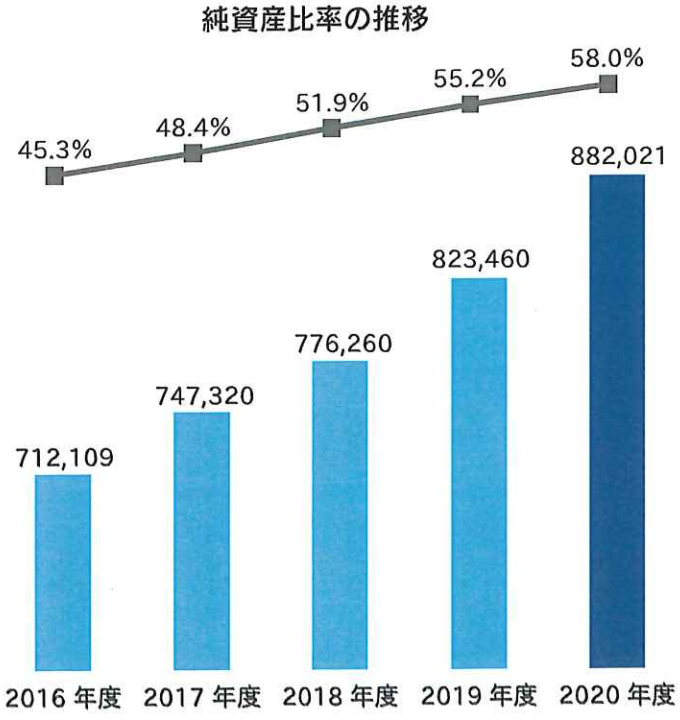


支払利息支出の推移（単位：千円）

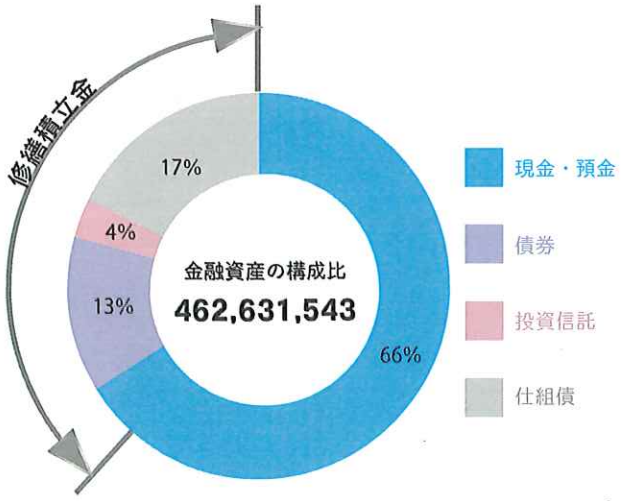
財政状態の概況

当年度の**総資産は 1,519,565 千円、純資産は 882,021 千円**です。

修繕積立金は、182,167 千円、次期繰越活動増減差額は 338,395 千円です。うち当期活動増減差額は、64,256 千円です。**純資産率は 58%**で前年度より 2.8 ポイント上昇しました。



純資産の推移（単位：千円）



COVID－19への取り組み

当初の事業計画は、新型コロナウイルスにより、大幅に変更せざるを得ませんでした。年度当初は不測の事態へ対処する全職員に対して、見舞金を支給したり、クラスターが発生した施設へ職員を派遣するなど、新型コロナウイルスへの対応に追われました。

デイサービスでは、次亜塩素酸水の生成器を調理場に設置し、消毒用として地域の方々へ無料配布しました。

特養では会議室をアクリル板で仕切り、二方向から入室して面会できるように改装しました。

ショートステイの一室には、陰圧装置を設置し、在宅要介護者等の受け入れに備えました。

安心サポート事業

3名の男性が利用しました。うち2件は、就労するにあたりバスの定期券や衣服などを給付しました。

認定就労支援事業

持病のため10数年間働いていなかった50代男性の就労支援を請け負いました。施設では清掃等を中心に週5日の勤務ができることを目標に支援しました。日頃の体調管理を行いながら目標を達成し、現在は、雇用契約を結び就労しています。

人財の活用

令和2年度の**離職率は10.4%**でした。13名が退職し、13名を採用しています。採用した中には、安心サポート事業や認定就労支援事業を経て採用した職員が含まれています。

障がい者雇用率は、全国平均2.15%に対して11%と非常に高いのが特徴的です。周囲の職員も、一人一人の特徴を理解し協働しています。

非正規職員2名を正職員登用しました。二人とも資格取得に意欲的で今後に期待しています。

コロナ禍の中で研修スタイルが変革しました。オンラインで行う研修スタイルが主流となる中、清光園でも研修をYouTubeで配信するなど試みました。

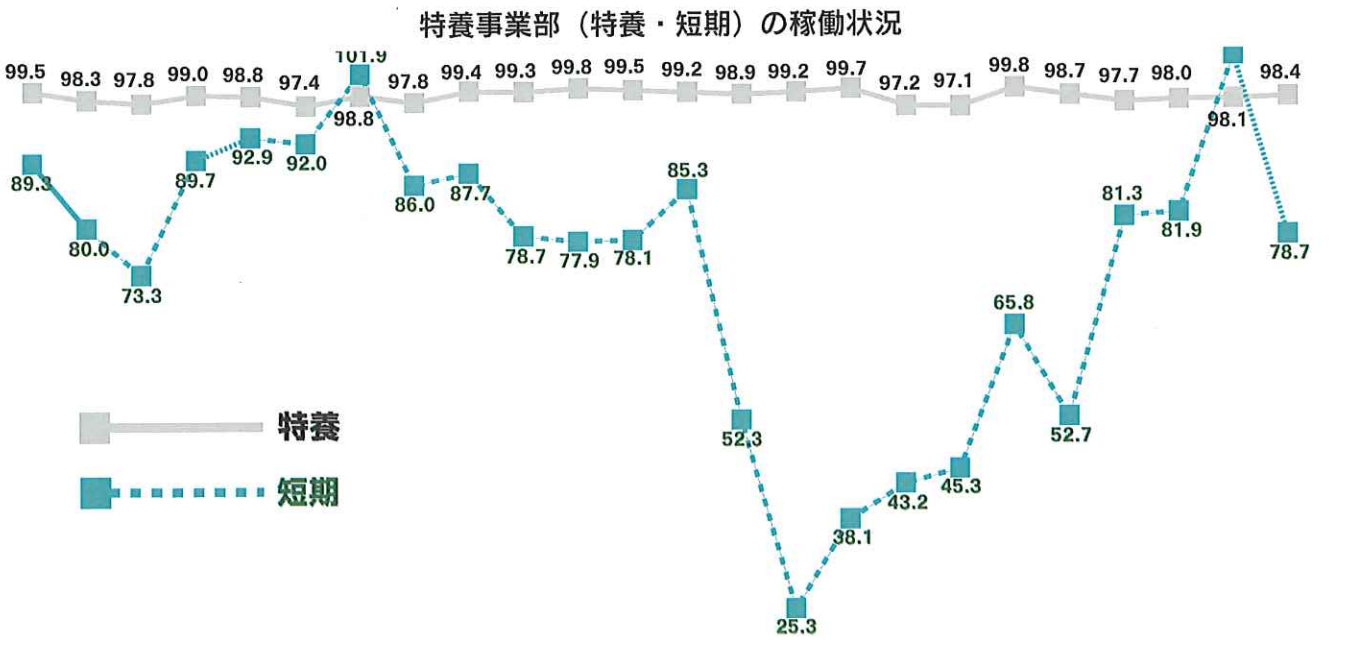
特養事業部の取り組み

特養の平均稼働率は98.5%で、前年度の98.8%より0.3ポイント減となりました。新規入居者31名、退去者31名でした。

特養は、8月頃より入院による空きベッドが増加しました。空きベッドは、これまで空床短期として有効活用してきましたが、新型コロナの影響で、短期の利用者は激減しました。6月には25.3%まで落ち込みましたが、12月頃より例年並みの稼働状況になりました。

安全安心のニーズが高まる中で、ショートステイの1室を陰圧装置を設置し、ショートステイのリビングに、大型の空気清浄機を2基設置しました。どこよりも安全で衛生的な環境を整えることで、利用者の安心に繋がっております。

短期の平均稼働率は62.6%で、前年度の85.6%よ



り23ポイント減となりました。利用実人数は47名で、うち新規で利用された方は24名です。緊急で受けれた件数は13件でした。

入居者の自立へ向けた生活環境を改善するために、モジュール式車椅子を整備しました。また、見守りロボット"aams介護"が通信環境により不具合が発生していたことから、補助金を活用して全館Wi-Fi環境を整備しました。

地域事業部の取り組み

地域事業部の稼働率は、**グループホーム99.6%、デイサービス92.2%、サ高住98.7%**でした。

配食サービスや地域カフェなどの取り組みは、新型コロナウイルスの影響を受け、当初は中止しましたが、標準予防対策を実施した上で、活動を再開しました。

オレンジカフェ　毎月第3or第4土曜日に、脳トレ問題や感染予防対策を情報提供し、お弁当を販売しました。

W笑Wカフェ　9月と10月は、夕張市拠点複合施設リスタで、ふまねっと運動を行い、15名の方々が参加されました。その他、家でできる体操や新型コロナ関連の情報を提供し、お弁当を販売しました。

配食サービス　月二回、南清水沢地区の独居高齢者へお届けするお弁当を作っています。

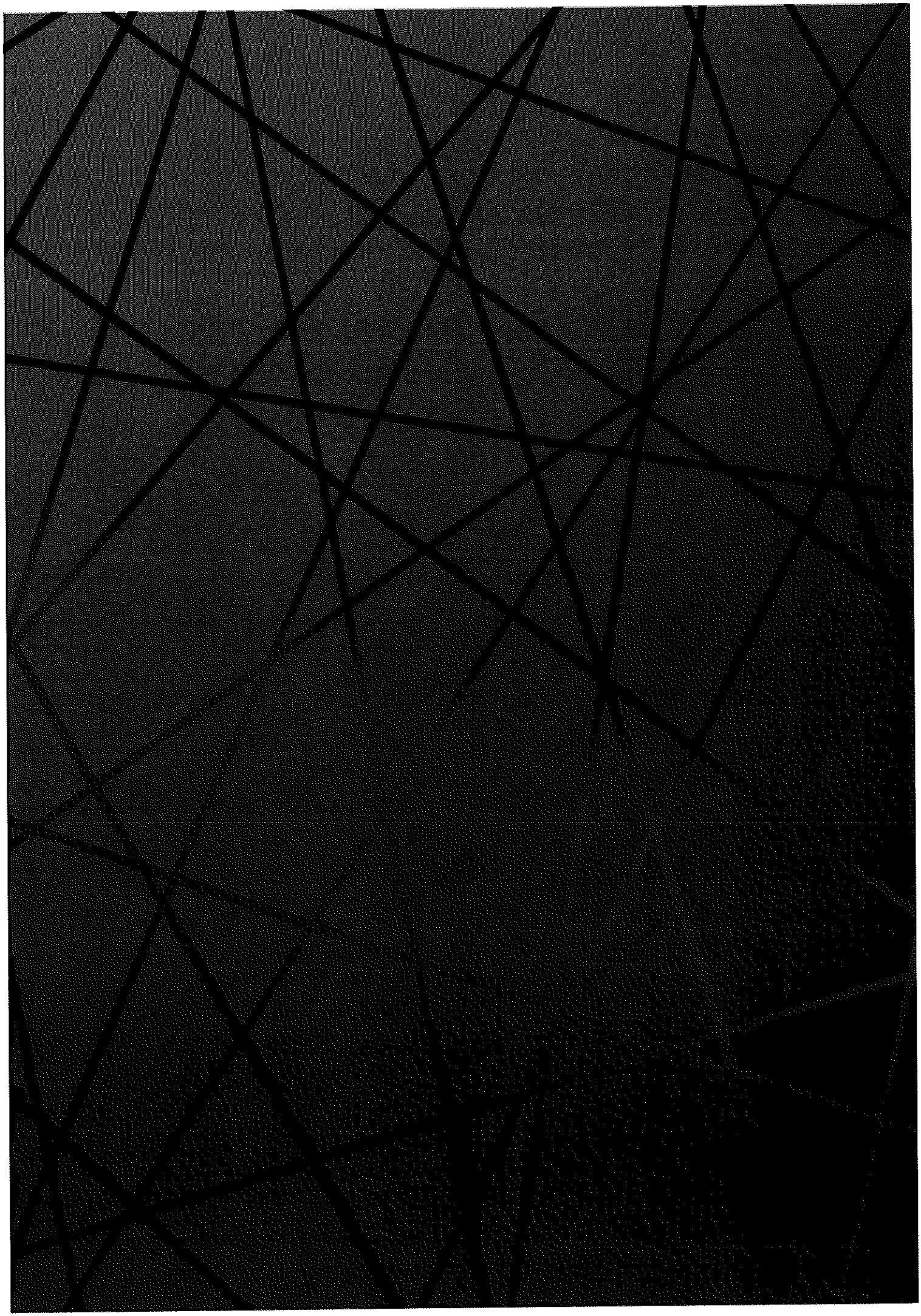
夕張まちじゅう子ども食堂　夕張市のコロナ子育て支援と夕張市内の飲食業支援を目的とした取り組みに、「すずらんキッチン」として参加しました。12月から3月の間、お弁当やオードブルなどを受注。これを機に、学童保育や保育園からも注文を受けるようになりました。

認知症ケアの啓発活動　10/7（水）、北海道高等学校ボランティア研究大会で、「認知症の方への対応を考える」と題して講演しました。　認知症サポーター講習は、2/2（金）に夕張高校1年生21名を対象に行い、2/17（水）にはゆうばり小学校5年生32名を対象に講習会を行いました。その他、夕張市社協のボランティア向け学習資料「認知症に対する正しい理解」を資料提供しています。

南清水沢在宅福祉サービス委員会　南清水沢地区の独居高齢者への支援を、地域包括支援センターや夕張市社協の生活コーディネーターの方々と情報を共有し、ボランティア活動をしています。

居宅介護支援事業の取り組み

居宅介護支援事業所の月平均利用者数は、**要介護94.6人、介護予備36人**でした。

サービス向上委員会の主な活動

分科会	活動内容
防災委員会	・非常災害対策計画・避難確保計画を変更 ・8/27・3/22　火災避難訓練実施 ・土砂災害警戒区域指定（予定）の準備 ・垂直避難・非常食・災害物品の見直し
研修委員会	・ユニットリーダー研修1名参加 ・医療連携研修では、中條Dr.GHわかなと共同で行った
事故・苦情	・事故件数117件（74件）※（　）内は前年度の件数 ・転倒・転落等63件（36件） ・誤飲・誤嚥0件（2件） ・誤薬0件（1件） ・外傷50件（32件） ・無断外出0件（1件） ・接触0件（1件） ・対人1件（0件） ・異食2件（1件） ・その他1件（0件） ・苦情件数1件
感染予防	・PPEの着脱訓練を実施
褥瘡予防	・褥瘡発生者・高リスク者の把握 ・褥瘡予防ケア計画の策定
認知症ケア	・認知症の方とのコミュニケーション法「バリデーション」を学ぶ
口腔ケア	・口腔嚥下評価 ・口腔マネジメント計画の策定